

養護概説	3 年・後期	2 単位	教授 佐光 恵子
科目カテゴリ	養護に関する科目	科目ナンバリング	36011223

1. 授業のねらい・概要

本科目は、養護教諭の職能に関する学問的体系を学び、今養護教諭に求められている専門性と保健室の機能を生かした職務を实践できる能力を養う。特に、養護教諭の新たな役割を果たす資質や能力、実践力を身につけていくための基礎的知識を習得する。

2. 学修の到達目標

1. 関連法規に基づき、養護教諭の職務を理解できる。
2. 養護教諭に求められる専門性、資質や能力等を理解し、基礎的実践力について理解できる

3. 授業の進め方

講義を中心に進めるが、視聴覚教材、グループワークを取り入れ、実践的能力を養うため学生の主体的な取り組みを期待する。

4. 授業計画

1. 養護教諭の職務の本質と概念	9. 養護教諭の職務の実際 ②保健室の機能と運営
2. 養護教諭制度の沿革と職務内容の変遷	10. 養護教諭の職務の実際 ③健康診断と健康相談
3. 養護教諭に必要な能力 ①求められる能力	11. 養護教諭の職務の実際 ④学校環境衛生活動
4. 養護教諭に必要な能力 ②新たな役割の法的根拠	12. 養護教諭の職務の実際 ⑤保健教育活動
5. 養護教諭の教育	13. 養護教諭の職務の実際 ⑥救急処置活動
6. 教育に果たす養護教諭の役割 ①健康教育と学校保健	14. 養護教諭の活動の評価と研究看護実践の方法
7. 教育に果たす養護教諭の役割 ②健康教育とヘルスプロモーション	15. まとめ
8. 養護教諭の職務の実際 ①学校保健計画	

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）60%，課題 20%，提出物 20%で、総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：新養護概説第10版（CD-ROM付）
新訂版 学校保健実務必携（第4次改訂版）
参考文献：適宜紹介する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲について予習及び復習を行なうこと。

8. 受講上の留意事項

2年次の教職関連の規定科目の単位を取得していること。

9. 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は教員が内容をチェックして返却する。内容の不備なものは再提出を求める。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

教職の必修科目であり、修得できない場合免許状不可となる。